

< 胃がん地域連携パスの改訂版の変更点について >

1) 胃癌治療ガイドライン(第4版:2014年)の胃癌手術後のフォローアップの項を参考に改定

改定の要約

内視鏡は1年、3年、5年を必須に、また2年、4年は選択に変更。

ステージ Ia と Ib を一緒に同じスケジュールに変更

ステージ II-III は原則 TS・1 による補助療法、1、3、6、9 ヶ月は病院受診とする。

ガイドラインに記載されているフォロー日は原則病院の受診とする。

5年以降は従来通り。

: 必須、

: 病院、かかりつけ医どちらかで必須、

: 選択可(検査)

: 選択可(診察・検査)

2) 検討を要する項目

ノートの大きさは検討

検査項目の見直し

連携用紙の見直し(より簡便な使用のために)